

区分・種別	県指定天然記念物		
名 称	よう やま 用の山のサクラ		
所 在 地	大洲市河辺町北平		
所 有 者	個人	管 理 団 体	
指定年月日	昭和54年9月14日		
解 説	大洲市河辺町の最も奥地にある用の山（標高約540m）にあり、当地では「御所桜」と呼ばれている。根回り約6.3m、目通り約5.3m、樹高約10mのウバヒガン（エドヒガン）の老木で、花期は平年で4月上旬、花は淡いピンクで美しい。老木のため、主幹が空洞化している。 なお、ウバヒガンは県下においては石鎚山脈、小田深山など四国山地の少し奥山に時たま自生しているのが見られる。ソメイヨシノなどのなかった明治以前には自生のサクラとして貴ばれ、神社、仏閣の境内に植えられることが多かった。		

